

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」に関する課題と目標・実績について

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課 題	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析
<p>文部科学省による「令和6年度全国体力・運動能力運動習慣等調査」の結果において、小学男子は前年度から横ばい、小学女子は前年度から引き続き低下が見られる。</p> <p>また、同省における「青少年の体験活動に関する調査」においては「小学校の頃に体験活動を多くしていた子供は、その後、高校生の時に自尊感情や外向性等の項目の得点が高くなる傾向が見られる」とされている。</p> <p>新型コロナは5類になったものの、パンデミックによる社会生活の変容は大きく、当町においても例外ではない。重ねて少子化により、子供同士と一緒に運動、体験する機会が少なくなっている。</p>	<p>運動、体験活動の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ理科教室の実施 ・体を使ったレクリエーション活動の実施 ・その他地域との連携による活動体験など 	<p>放課後子ども教室におけるレクリエーション、体験活動を、各教室の人数、学年比などを考慮にいれ、より充実した内容を検討し実施する。</p>	<p>児童の体力向上及び体験活動を通じた協調性向上、自己肯定感の向上につながる</p>	<p>1年間に3教室で実施する事業回数</p>	20	20	15	<p>目標の回数を達成することはできなかったが、実施事業アンケートによる児童の感想においては、肯定的評価が多く、多様な体験活動を実施することができた。今後についても、前年度とは違う内容を考え、多様な活動を取り入れるよう検討していく。</p>